【個人】　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　提　出　　平成31年３月４日

山　行　報　告　書

山行報告提出者　：　鈴木聖志

山　域・山　名：白馬乗鞍岳（2,469m、長野県北安曇野郡小谷村）

入山日：平成31年３月2-３日　（土-日）　1 泊２日　　帰宅日：３月３日

プラン担当者　正：　　鈴木　　　副：

参加者	Ｌ報記：　鈴木　（単独行） 男　１名、　女　　名、　計１ 名

天候：3/2　快晴　無風
　　　3/3　晴れ　無風

天狗原付近より後立のオールスター
（左から鹿島槍、五竜、唐松、白馬槍、杓子、白馬）

月　日(　)	集合時間：　（単独行）　　午前・午後　　時　　　集合場所：
3/1（金）	24：00 東京駅八重洲鍛冶橋発夜行バスで栂池へ
3/2（土）	栂池６：45 着　ゴンドラＲＷで自然園へ　９：30 山行開始―11：00 天狗原―12：30 白馬乗鞍岳―13：00 白馬大池着（テント泊）　（行動：３h30）
3/3（日）	6：30 起床-8：15 白馬大池発-8：30 白馬乗鞍岳―9：15 天狗原―10：00 自然園着、ゴンドラで栂池へ下山　バスでＪＲ長野駅へ（行動：1h45）

荒天候時のエスケープルート：　山行中止し引き返す。

装備と食糧	
	共同装備：テント一式（要外張り）、ストーブ（寒冷用ガス含）、クッカー 共 同 食：無し、　車提供者：無し
	個人装備：ヘッドランプ、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、シュラフ、エア（銀）マット、水、帽子（目出帽）、冬グローブ、スパッツ、ストック、ピッケル、アイゼン、わかん、スコップ、ゾンデ棒、スノーソー、携帯トイレ、 個 人 食：食事ｘ４プラス予備食、行動食

感想

ゴンドラ券売場では登山届提出が乗車の条件で装備やコースなどチェックが厳しい。
最終ロープウェイを降りると係員の山行注意喚起があり、特に安易なＢＣ客が多いようだ。
冬用の標識やテープ印が無いため、地図とＢＣ客のトレースを頼りに天狗原を目指す。
天候はこれ以上望みようのない好天、ハード・ミッドシェルを次々に脱ぎインナー２枚でも心地良いほど。雪は締まりアイゼンの効きも抜群、踏み抜きも無くどこを歩いても大丈夫なのだが、逆に帰路ホワイトアウトした時の不安が脳裏をかすめる。なだらかな山頂のケルンを通り越し下りに差し掛かると、雪に埋もれた白馬大池と思しき大平面が眼下に
広がった。池の畔であろう傾斜地にテントを設営し一息つくと、無風でさんさんと照りつける太陽の下、音もなく人の気配すらない異次元の世界へ身を置いた自分に気が付いた。定番の黄金色の液体を五臓に染み込ませＦ・マーキュリーの雄叫びで鼓膜を叩かせると、至福のひと時をほしいがままにするわが身がこの上ない果報者に思えた。
翌日目をさましすぐに外を眺めると心配だったガスもなく視界良好、“参ったか” と言わんばかりにずらりと並ぶ後立山のそうそうたる山稜を眼前に拝みながらの下山は圧巻の一言に尽きる。